

# 星空案内ネタの詰まった「宝箱」(データのアーカイブ)は作れるか？

## アンケート調査結果

柴田晋平 (NPO 法人星のソムリエ機構・ワークショップ事業 G)

2025年1月30日

### 1 はじめに

10件の意見が寄せられたのでまとめる。まず、「宝箱があったらいいなあと多くの人が思っている」ことは間違いなことがわかった。アンケートの質問は、Q1: どんな宝箱がいいか、Q2: 困難さはどこかの2点。アンケートから得られた意見は以下のように整理される。

### 2 Q1 どんな宝物がいいか？について

意見は、

- コンテンツの中身に関するもの
  - データベースの機能に関するもの
- に分類される。

#### 2.1 コンテンツの中身に関するもの

- 星空の写真、天文現象の写真(専門的完成度の高いものではなく案内人が撮ったもの、世界中どこでとったものでもいいが実際に見えるものに近いもの。)
- スライドデータベース(パワーポイントなど) 利用する時は必要に応じて組み合わせて使う。

- ペーパー工作, 簡単な工作
- やや大掛かりな仕掛けの事例 (例、天体望遠鏡のドームをプラネタリウムにする装置)
- Mitaka の利用法
- お話になったもの、案内ネタ帳としての事例・エピソード
- 野外での作業・活動のコンテンツ, 体験型ワークショップのプログラム
- AR グラス対応ソフト、その他ソフトウェア
- <http://...> にこんなアーカイブがあるよという 2 次情報

## 2.2 データベースの機能に関するもの

- 時系列、テーマ別、人気別などの選択機能がある
- インデックス性の高いもの
- 季節・対象年齢などで検索できる
- 資料、用具の入手方法がわかる

## 3 困難さはどこか

- 公開するとなると制作に多大な努力を必要とする
- 内容に個人情報を含む恐れがある
- 自分の星空案内が世間の目に触れることへの心理的抵抗 (自分のオリジナリティを犯されたくない。外部からの批判にさらされる恐れ。仲間内だけにしたい。)
- データベースの管理に多大な労力が必要
- IAU/OAE の天文教育教材の DB に類似 (<https://astroedu.iau.org/en/>) している：ここは査読がある

- 費用がかかる
- 内容によってはスキルが要請されるものがある
- どの年齢層向きか決めないといけない: 発達段階を理解していない人も多い
- 個性によるところが大きい
- ストーリー性のあるものは人や環境・参加者で変化するので一つに決まらない。